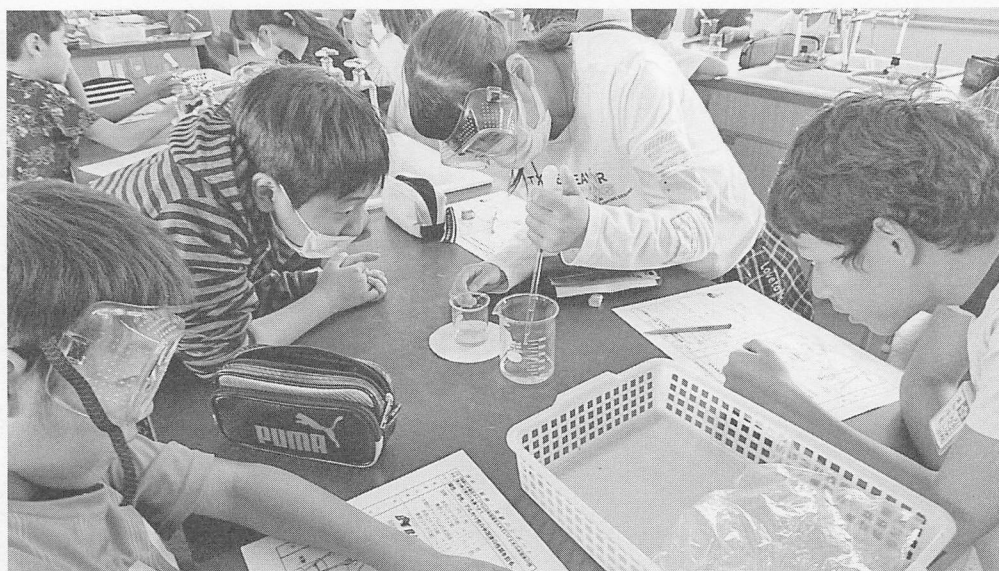


研究の概要

(全体)



I 研究の概要

1 研究主題

小中連携を通じた道徳教育の探究 ～道徳科の授業づくりと体験活動を通して～

2 主題設定の理由

(1) 今日的な課題から

今日、わが国は少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や急速に進む技術革新、高度情報化等が急速に進む時代を迎えている。社会環境は大きく変化し、これからの時代を生きる子どもたちは、なお一層の「生きる力」が求められるようになる。そういった現状を踏まえ、学習指導要領において道徳科では、「考え、議論する」道徳科に転換し、「特別の教科」として検定教科書が導入されたり、「多面的、多角的」「体験的、問題解決的な学習」など様々な工夫が求められたりしている。今回の改訂の趣旨を踏まえた道徳科の学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、自己を見つめ自他を認め合い、よりよく生きようとする心を育てることが大切である。

また、江北町では、「子や孫が誇れる郷土づくり」をめざして教育・子育て支援に取り組んでいる。学校教育においては、学校運営協議会を設置し、家庭や地域との連携のもと、急速な社会変化の中で、将来の地域社会の形成者としての役割と自覚を高め、創造的で活力に満ち、たくましく生き抜いていける子どもの育成をめざしている。さらに、江北小中学校では、江北町教育委員会の委嘱を受け、小中連携学力向上の取組を行っている。職員の合同研修や相互授業参観、あいさつ運動交流会やボランティア交流会などで連携を深め、9年間を見通した児童生徒の育成をめざしている。

これらのことを踏まえ、小中連携の取組を軸に、地域、家庭が一体となった道徳教育をめざし、特に「自ら考え伝え合う」道徳科の授業の実践と体験活動を通して心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成を図りたいと考え、本主題を設定した。

(2) 学校教育目標の具現化として

本町小中学校の学校教育目標は「自ら学び心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」である。

小学校における道徳教育は、人間としてよりよく生きるために必要な道徳的価値や行動の仕方を様々な体験や学習を通して学び、一人一人の基礎的な道徳性を確立していくものである。中学校における道徳教育では、小学校段階で培った内面的資質である道徳性を様々な体験や学習を通して高め、自己を確立することを目指し、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。本研究を通して、日々の生活や自己の生き方に結び付けて考えを深め、自他を認め合い、心豊かにたくましく生きる児童生徒の姿を具現化していくことで、学校教育目標の達成が図られると考えた。

(3) 児童生徒の実態から

本町小中学校の児童生徒の多くは素直で明るく、地域や家庭も学校教育に協力的な環境で育っている。小中学校を通して児童生徒のたてのつながりが強く、上級生と下級生が関わり合う姿も多く見られる。一方で、十分に豊かな心を持ち、自己有用感が高まっているとは言い難い面もあ

る。また、家庭環境に恵まれず、支援が必要な児童生徒も増加している。さらに、望ましい人間関係を構築する力に弱さが見られ、支持的風土が十分に醸成されていないという課題も見られる。そこで、道徳教育の充実を図ることで、児童生徒が他者・社会・自然・環境とのかかわりの中で生きうるといふ実感や達成感を深め、自他を認め合い、たくましく生きる心豊かな児童生徒を育てることができると考える。

3 研究のねらい

自ら学び心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成を目指し、伝え合う授業づくりと小中学校及び地域に関連付けた体験活動を中心にして、小中学校9年間を見通した道徳教育のあり方を探る。

4 研究の内容と方法

(1) 目指す児童生徒像の共有

町内に隣接した1小学校1中学校の利点を生かし、児童生徒の道徳性に関わる実態や課題を明らかにし、社会的な要請や家庭や地域社会の期待から目指す児童生徒像を小中学校で共有する。また、児童生徒や学校の実態に応じた重点的指導が必要な内容項目の洗い出しを行い、実施の時期や頻度、配列における工夫を行う。

(2) 道徳教育推進体制の確立

小中学校相互の授業参観、合同での行事や活動、研究協議会を通して、小中学校9年間を見通した計画的、系統的な道徳教育を模索する。また、小中連携で取り組む推進体制作りの構築を図る。さらに、道徳教育推進の具体的なモデルを考案し、共通理解を図る。

(3) 9年間を見通した道徳教育の実践

小中学校9年間の道徳教育を見通した全体計画の作成を行う。さらに、発達段階に応じたカリキュラムを模索する。また、各小中学校や小中合同で行う交流活動の充実を図る。

(4) 道徳科の指導力向上

「考え、議論する道徳」という新学習指導要領の趣旨を捉えた授業づくりを行う。問題意識をもち、自分自身との関わりで考え、自らを振り返ることができるという主体的な学び視点と、協働し対話し、多面的・多角的に考える対話的な学びの視点を取り入れた指導の在り方や方法における研究を行う。

(5) 学校・家庭・地域社会との連携

令和元年度より江北小・中学校にコミュニティ・スクールが導入され、地域とともにある学校を推進している。また、地域社会に町広報や学校通信を通して、道徳科について情報発信するとともに、児童生徒の豊かな心を積極的に育もうとする意欲を高める。

学校教育目標

自ら学び心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成

研究主題

小中連携を通じた道徳教育の探究
～道徳科の授業づくりと体験活動を通して～

児童生徒

授業づくり
の推進

- ・小中連携した授業研究会の実施
- ・各学校における授業研究会の充実
- ・指導案の形式の提案
- ・「考え、議論する」手立ての工夫
- ・アンケートの実施と分析

体験活動
の推進

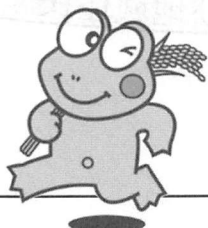
- ・小中連携による交流活動の計画、実施
- ・各学校における行事や学習活動の充実
- ・環境整備

道徳の授業と体験活動の関連づけ
道徳科年間計画の見直し
児童生徒の共通体験の確保

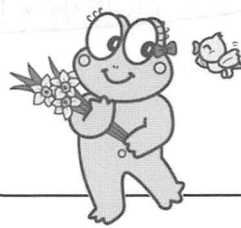
心の教育の推進

- ・ハートタイムの実施・充実
- ・アンケートの実施と分析
- ・Q-Uの実施と分析、活用
- ・児童生徒の出番作り

ふれあい道徳



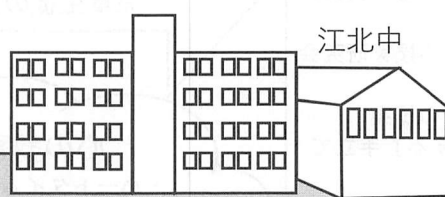
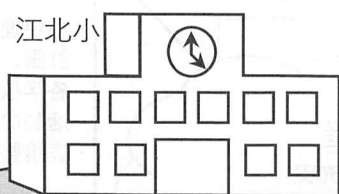
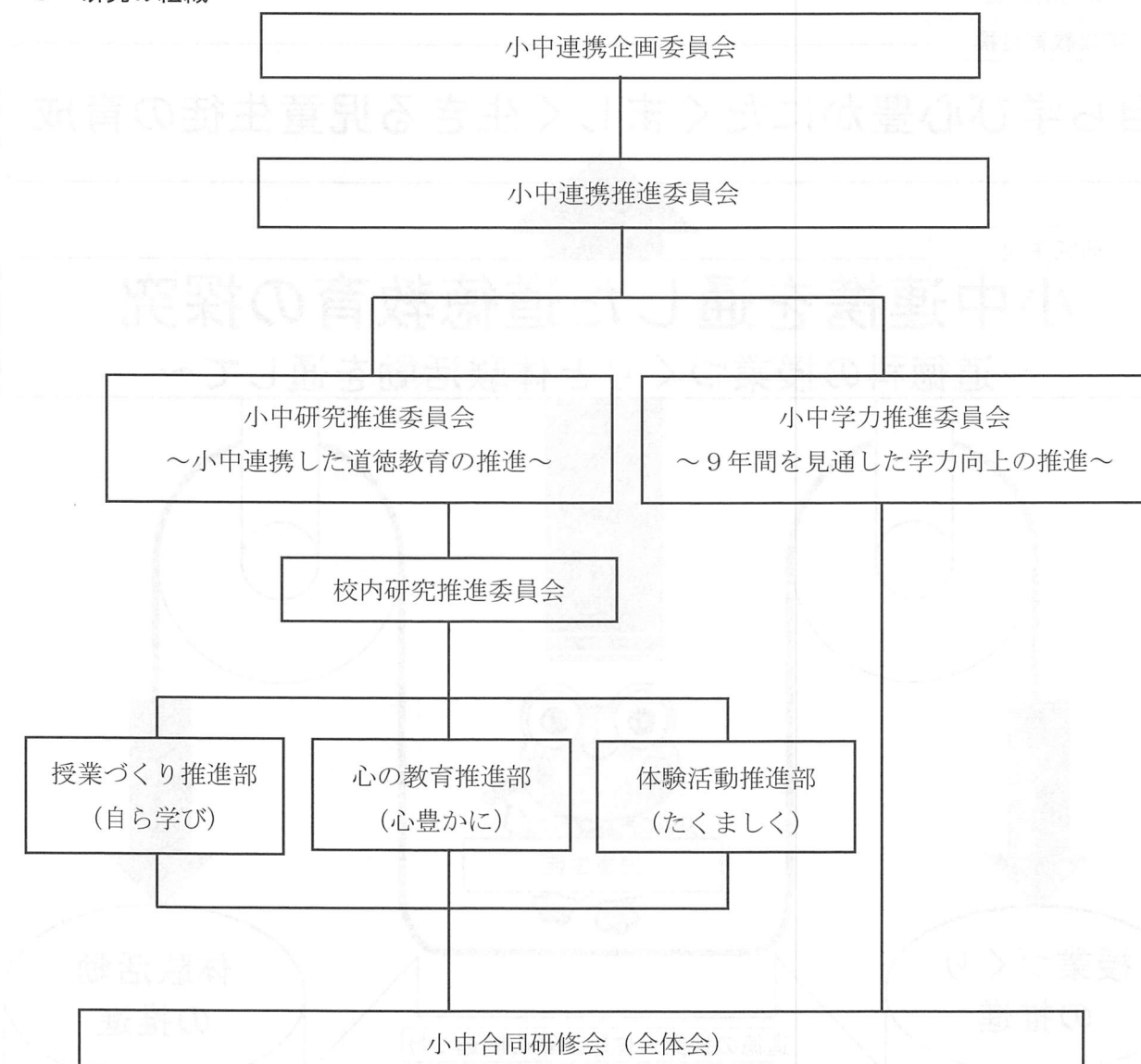
道徳アンケート



行事・活動での交流

江北町 地域・家庭の願い

6 研究の組織



【学校教育目標(小中共通)】

自ら学び心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成

江北小・中学校保護者及び地域住民

7 実施計画

月	実施内容	備考
6月	第1回小中連携推進委員会 江北町フリー参観デー（ふれあい道德）	
7月	第2回小中連携推進委員会 第1回小中合同研修会 第1回道徳推進地域連携協議会	
8月	第3回小中連携推進委員会 第2回小中合同研修会 第4回小中連携推進委員会	
9月	第5回小中連携推進委員会	
10月	第6回小中連携推進委員会 第3回小中合同研修会	
11月	第7回小中連携推進委員会 第2回道徳推進地域連携協議会 心の教育講演会（29日）	
12月	第8回小中連携推進委員会 第4回小中合同研修会	
1月	第9回小中連携推進委員会 第5回小中合同研修会 中間発表授業研究会	
2月	第10回小中連携推進委員会 第3回道徳推進地域連携協議会	
年間を通して	小中相互授業参観及び研究授業への参加 体験活動・ボランティア活動の実施	

II 研究の実際

1 指導案形式の提案

□余白 上下左右 20mm□
45字×50行程度

第○学年○組道徳科学習指導案

児童生徒数 ○名

指導者 教諭 ○○○ ○○○

□タイトル、1・・・、主題名～MSゴシック
□本文～MS明朝

- 1 主題名 ○○○○○ 【A-(2) 正直、誠実】
- 2 教材名 「□□□」 (東京書籍 新しい道徳 ○年)
- 3 主題の設定理由

○ねらいとする価値について

- ・本時でねらう道徳的価値を明確にする。
- ・発達段階に応じた、身につけさせたい道徳的実践意欲や態度を整理する。

○児童の実態について

- ・主題や本時のねらいに照らし合わせた児童生徒の実態を書く。
- ・事前アンケートの結果や具体的な事例等をあげ、ねらいとする道徳的価値に対する意識や態度の実態を明らかにする。

○教材の活用について

- ・本時で身につけさせたい道徳的価値に向かって本教材でどのようにアプローチするのかを明確にする。
- ・教材のあらすじ等を整理し、教材の持つ特性をあげる。

○指導の重点

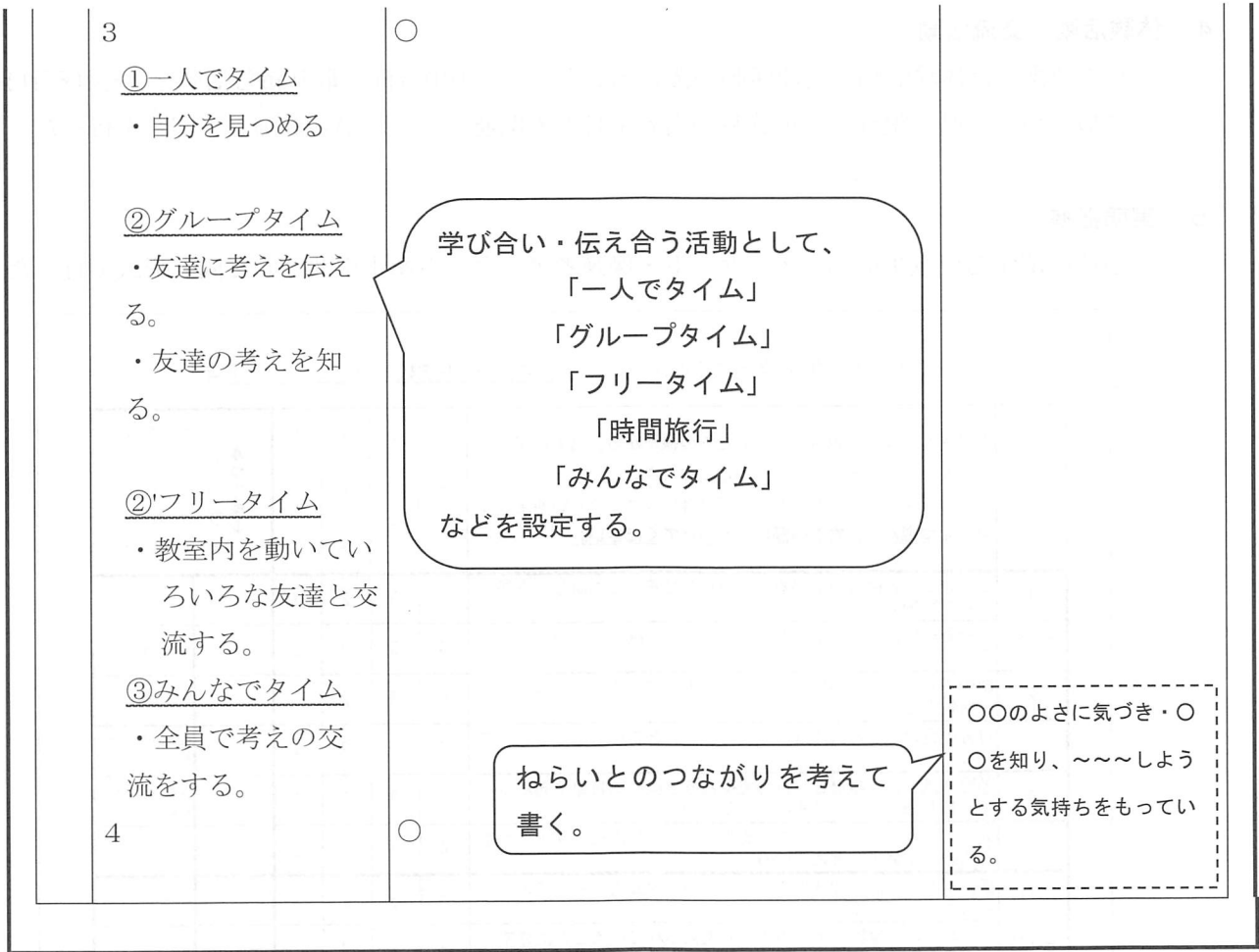
- ・学習過程に沿って、ねらいにせまらせるための手立てを具体的に書く。

4 ねらい

- ～～～を考えることを通して・・・しようとする実践意欲を高める。
- ～～～に気づき、これから・・・していこうとする態度を育てる。

5 展開

過程	学習活動	主な発問 (○) と予想される反応 (・) テーマ (□)	教師の働きかけ 期待される児童生徒の姿
見 つ め る / つ か む	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主な発問をあげる。中心発問を設定せず、発問全体の構成を考える。 	<p>ねらいに沿った学習後の児童生徒の姿を書く。</p>
	2	<p>テーマは内容によってはなくてよい</p>	



【指導案の基本形式】

2 小中共通の重点内容項目の決定

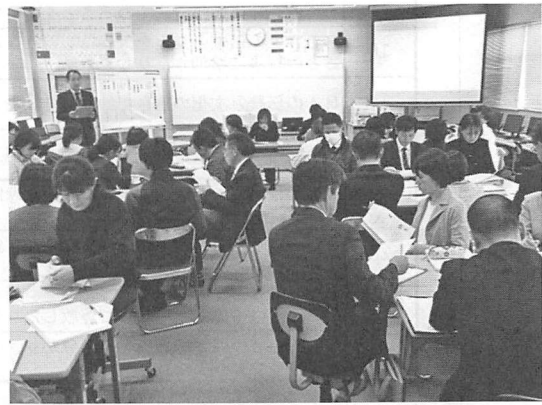
道徳アンケートの結果から、『生命の尊さ』に関する内容項目を共通の重点内容項目とした。

3 合同授業研究会の実施

小中相互の授業研究会に全職員で参加した。授業の視点に沿ってグループ討議を行い、発達段階に応じた指導方法の工夫について話し合いを行ったり講師の先生から指導助言を受けたりして研究を深めた。



【グループ討議の様子】



【合同研修会の様子】

4 体験活動・交流活動

小中連携した体験活動や交流活動の洗い出しをした。小中合同で取り組む活動と、それぞれ独自に取り組む活動を整理し、道徳科の内容項目との関連を考えながら計画し、実践を行った。

5 実態把握

道徳に関する児童生徒へのアンケート・保護者アンケートを小中共通して同じ形式で行った。

おさんの学年を教えてください。 小学校・中学校 () 年

	お子さんの様子、地域の子どもの様子から、当てはまる番号(4・3・2・1)に○をつけてください。 また、江北町の子どもたちに、ぜひ身につけてほしい態度について4つ選んで、右端の欄に○をつけてください。	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	ほしいう態度	身につけてほしい態度	どなたの子
1-(1)	正しいことと間違っていることを自分で考えて判断し、責任をもって行動している。	4	3	2	1		自主・自律	
1-(2)	うそをついたりごまかしたりしないで、正直に明るい心で生活をしている。	4	3	2	1		自由と責任	
2	健康や安全に気をつけ、物やお金を大事にするなど、望ましい生活習慣を大切にしている。	4	3	2	1		節度・節制	
3	自分の良いところは伸ばそうとし、悪いところは直そうとしている。	4	3	2	1		向上心・徳性の伸長	
4	勉強や運動、仕事など、自分でやろうと決めた目標に向かって、粘り強く、くじけずに努力している。	4	3	2	1		希望と勇氣・克己と強い意志	
5	人として行うべき正しいことを大切にし、生活をよりよくするためのアイデアを考えている。	4	3	2	1		真理の探究・創造	
6-(1)	誰に対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にしようとしている。	4	3	2	1		思いやり	
6-(2)	日々の生活が家族や多くの人から支えられていることに感謝し、みんなのために自分ができることを考えて行動している。	4	3	2	1		感謝	
7	誰に対しても心のこもったあいさつや言葉づかい、行動をしている。	4	3	2	1		礼儀	
8	友達と互いに理解し合い、励まし合い、高め合いながらよりよい関係を作ろうとしている。	4	3	2	1		友誼・信頼	
9	自分の考えや意見を相手に伝えたり、自分とは異なる考えや意見を大切にしたりしている。	4	3	2	1		相互理解・寛容	
10	なぜ法やきまりがあるのかを理解し、それを大切にし、守ろうとしている。	4	3	2	1		遵法精神・公徳心	
11	誰に対しても分けへだてなく接し、みんなと仲良くしている。	4	3	2	1		公正・公平・社会正義	
12	学級活動(当番・係)や生徒会活動に進んで参加し、互いに助け合ったり励まし合ったりしている。	4	3	2	1		社会参画・公共の精神	
13	働くことの大切さや喜びをしり、みんなのために進んで働いている。	4	3	2	1		勤労	
14	父母、祖父母など家族のことを思い、家族のために役立つことをしている。	4	3	2	1		家族愛・家庭生活の充実	
15	先生や学校にいる人のことを大切に思い、よりよい学級や学校を作るために、自分にできることをしている。	4	3	2	1		よりよい学校生活・集団生活の充実	
16	ふるさとの伝統と文化を大切にしたり、地域の人と一緒にふるさとの行事に参加したりしている。	4	3	2	1		郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度	
17	日本の伝統と文化の良さを知り、それを大切にしている。	4	3	2	1		我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度	
18	いろいろな国の良さが分かり、関心や親しみをもっている。	4	3	2	1		国際理解・国際貢献	
19	命はかけがえのないものであることを理解し、いつも大切にしている。	4	3	2	1		生命の尊さ	
20	自然の素晴らしさや不思議さを知り、自然や動物、植物を大切にしている。	4	3	2	1		自然愛護	
21	美しい風景、文学や美術、音楽などを通して感動したり、人の心の優しさや温かさに対して尊敬したりしている。	4	3	2	1		感動・畏敬の念	
22	誰にでも心の弱さがあることが分かり、それに負けずに強く生きていこうとしている。	4	3	2	1		よりよく生きる喜び	

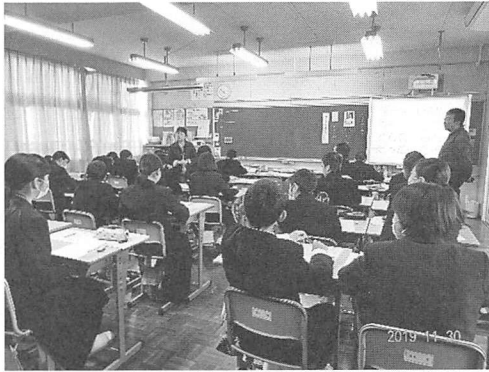
【小中共通で行った保護者アンケート】

6 互いに認め合う関係づくり

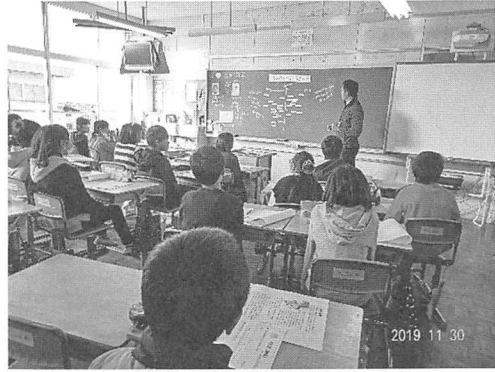
児童生徒の自己肯定感や自己有用感を高めるために、様々な場面で一人一人の出番づくりをしたり、より望ましい人間関係について考えさせたりする時間を設けた。

7 ふれあい道徳と心の教育講演会の計画と実施

11月30日に「江北町フリー参観デー」としてふれあい道徳を実施した。その後、小学校の体育館で心の教育講演会を行った。



【中学校でのふれあい道徳の様子】



【小学校でのふれあい道徳の様子】



【心の教育講演会の様子】



【講師の猿渡さん】

江北町フリー参観デー
ふれあい道徳および心の教育講演会について

江北町立 北郷 小 学 校
江北町立 北郷 中 学 校

① 心の教育講演会について
② 本校の参観について

③ 心の教育講演会について

学年	教科(学習内容)	内容(単元)	授業の時間
1年1組	かやぶきのあひま	家族愛、家族の愛	1時間
1年2組	かやぶきのあひま	思いやり、敬愛	1時間
1年3組	かやぶきのあひま	正義、誠実	1時間
2年1組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
2年2組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
2年3組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
3年1組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
3年2組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
3年3組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
4年1組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
4年2組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
4年3組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
5年1組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
5年2組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
5年3組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
6年1組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
6年2組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間
6年3組	かやぶきのあひま	愛の尊厳	1時間

心の教育講演会 講師紹介
講師 猿渡 直美 さん
演題 「瞳スーパーデラックス ～命を見つめて～」

【ふれあい道徳および心の教育講演会のお知らせおよびアンケート】